

航空機操縦士養成連絡協議会

各ワーキンググループとりまとめ概要

学費負担軽減ワーキンググループ

現状と課題

- 私立大学や訓練事業会社、航空専門学校等の民間養成機関では、学費負担が大きく定員を満たしていない。
- 民間養成機関に広く優秀な学生等を集め、その供給能力拡充に寄与するため、新たな奨学金制度が必要。

具体的な取組内容

1. 新たな奨学金制度の創設

- 新たな基金を創設し、基金から学生等に対し無利子貸与を行う。
- 対象者は、民間養成機関の飛行機操縦士養成課程に在籍し、奨学金の貸与を希望する学生等とする。
- 貸与の対象は学年毎に年間50名以上、貸与額の上限は1000万円とすることが適当。
- 必要となる資金は、制度立ち上げ当初の数年間には毎年約5億円、総額で約50億円と見込まれる。
- 資金確保のため、航空業界が最大限努力した上で、広く一般社会にも協力を求める。
- 平成27年度に詳細な制度設計を進め、平成28年度からの制度運用開始を目指す。

2. 複数の奨学金制度の連携

- 新たな奨学金制度と日本航空(株)による「パイロット奨学給付金制度」を含む複数の奨学金制度が連携し、相互補完・相乗効果を発揮させることにより、制度体系全体として公平・公正性を確保することが必要。
- このため、奨学金制度に関する情報発信・相談への対応、奨学金制度の運用改善に関する連絡調整等を行う一元的窓口機関を設ける。

今後の検討課題

- 奨学金基金の運営主体の選定
- 奨学金の返済方法及び返済不能となるリスクに対する保証
- 奨学生の選定期限／選定方法
- 奨学金資金の確保

技量向上ワーキンググループ

現状と課題

- 操縦士の供給量を増大させていく局面において、安全に直結する操縦士の質の確保は重要な課題
- 民間養成機関における学生等の技量レベル向上を通じて、就職率の向上等を図ることが必要。
- 基礎的な操縦技能を徹底的に身に着けるとともに、2人操縦機の操縦に必要なコミュニケーション能力、マネジメント能力等の応用力の涵養や、責任感、積極性、安全意識等の基本的姿勢の醸成も必要。

具体的な取組内容

1. 基礎的操縦技能を向上させるための取組

- 訓練オブザーブの実施促進
 - ・民間養成機関の教官による外部における訓練等のオブザーブ：航空大学校における訓練、航空会社における実運航やシミュレータ訓練のオブザーブにより得られる知見を民間養成機関の訓練に反映
 - ・民間養成機関での訓練に対するオブザーブ：外部専門家（航空大学校教官等）が訓練機と同乗等による訓練オブザーブを実施し、必要に応じて助言等を行うことにより訓練レベルの向上を図る
- 教材の共通化：航空大学校を含む養成機関における様々な知見を統合し、指導要領等の共通化を図る

2. 応用力を向上させるための取組

- 航空大学校におけるノウハウの共有：民間養成機関教官によるCRM座学訓練等のオブザーブ
- 応用力向上訓練の標準化：民間養成機関で実施可能な応用力向上訓練の内容について標準化を図る
- 様々な場面でのコミュニケーションの活性化：訓練を踏まえた注意点についての学生同士の集団討論等

3. 基本的姿勢の醸成に向けた取組

- 日々の教育・訓練の中で人間力向上を図るとともに、職場見学会の実施等によりモチベーション向上を図る

今後の検討課題

- 民間養成機関教官による外部オブザーブの受け入れ等について、協力を得られる航空会社から実施
- 教材の共通化、応用力向上訓練の標準化について27年度早期に検討体制を構築し、具体的検討を進める

裾野拡大ワーキンググループ

現状と課題

- 若年層の航空業界に対する関心が相対的に薄れており、潜在的志願者も十分に掘り起こせていない。
- これまでも個別の企業や団体等による取組は行われているが、今後さらに航空業界全体として連携・協力しつつ航空の裾野拡大に取組む必要がある。

具体的な取組内容

- 1 個別の取組のネットワーク化等による航空業界全体の取組の推進**
 - 航空に係る共通ウェブサイトの創設：航空関連の職業や必要な資格、養成機関等に関する情報を集約
 - 航空関連職業に係るガイドブックやパンフレットの作成、ソーシャルメディア等の活用
- 2 空に親しむ体験を充実させる取組の強化**
 - MRJの工場見学ツアーの実現、開発状況の発信等を期待
 - 「空の日」との連携、空のお祭りやスカイスポーツ等の振興
- 3 女性操縦士・女性整備士・女性製造技術者の増加に向けた取組**
 - 現役の女性操縦士・女性整備士・女性製造技術者による講演会の開催
- 4 初等中等教育における航空への関心を高める取組**
 - 高校の進路指導担当者等への情報提供
 - 「キャリア教育」の取組との連携：出前講座の実施促進、航空の現場を体験する教育機会の提供拡大

今後の検討課題

- 航空関連職種に関する合同就職フェア等の開催
- 航空裾野拡大に関する新たなサービスや企画を行う様々な活動団体への支援活動の実施
- 空港ロビーやラウンジ等における機体やシミュレーター等の設置・展示
- 航空観光の推進：空港訪問者を対象とした空港周辺ツアーの実施等
- 女性向けメディアの活用、女性が働きやすい環境の整備

等